

第6回 藤久保地域拠点施設基本計画検討委員会について

令和2年11月4日
政策推進室政策推進担当

1. 日 時：令和2年11月4日（水）10：00～12：00
2. 場 所：役場501会議室
3. 出席者：杉崎和久委員（委員長）※、阿部英雄委員、伊藤敏彦委員、大貫豊彦委員、数馬田性委員、児島新衛委員、佐藤和秀委員、武山睦子委員※、多胡晴子委員、当新卓也委員、松村克彦委員、三ツ木紀夫委員※、横山八重子委員 ※…オンライン出席
事務局 政策推進室 室長 島田高志 主幹 富田篤 技師 新村優宗
受託事業者
4. 傍聴の可否について
第6回検討委員会の傍聴を可とする。 傍聴者 4名
5. 審 議：（1）配置計画について
（2）施設規模について
（3）モデルプランの検討状況
（4）第7回検討委員会に向けて
（5）意見交換・質疑

6.内容（結果）

【審議（1）について】

- ・質疑無し。

【審議（2）について】

- ・コミュニティスペースの備考欄に「カフェ併設など」といった表記があり、新しくカフェがリストに増えているがその関係性は。
- ⇒コミュニティスペースに、カフェ等を併設することで室の質が向上されるといった考えで備考欄に記載している。今回追加したカフェについては、予想される民間施設としてモデルプランに反映させたものである。

【審議（3）について】

- ・駐車場については、前回意見として民間管理の立体駐車場の提案をした。また、検討において施設の利用想定人数などを基に検討しているのか。採光への配慮としては、小学校の位置を北側にずらしてはどうか。
- ⇒駐車場については、検討段階であるが、立体駐車場については整備費や維持管理費が課題と捉えている。民間での整備の可能性なども考えられるが、現段階では平面駐車場として検討している。利用の想定人数については、新施設であり想定は難し

いが、多くの方に使ってもらうことを目標としているため、駐車場についても極力多く取れる計画としたいと考えている。小学校の位置については、グラウンドを広く取りたいという学校側の要望がある。日影の影響を考え、建物相互の間隔などを想定している。

- ・団体で話をしていると、収納スペースを心配する声が多くある。えんぱーくなどでもロッカーなどが多く確保されていた。そういうスペースは考えているのか。トイレの配置は明示されていないが、重要だと考える。多目的トイレなどへの動線などは大事だと思う。施設に限りがあるので、屋上などの有効利用なども考えてもらいたい。スペースは出来るだけ多い方がいい。自由に使える部分が多い方がいい。

⇒活動に使用する資材の保管等については、えんぱーくにあったようなロッカーなどを参考に、確保したいと考えている。トイレについては、モデルプランのため、詳細の検討は盛り込んでいない。ただ、動線なども含め、バリアフリーに対応した設計といった視点は入っている。屋上等の利用については、本計画の大きな視点として屋外スペースの有効利用といった考えがある。住民からも多くの意見をいただいているところであり、ご意見として伺う。自由に使えるフリースペースについては、施設諸元のコミュニティスペースがそれにあたる。予約なく自由につかえるスペースとして住民からの要望が多くあった部分であり、面積として確保している。まとめて設置するか、分散して設置するか等については、今後検討していく。

- ・商工会について、専有スペースが350㎡となっているがバックヤードが取れていない。現状でもモノがあふれている状態であり、検討願いたい。
- ・低層案③では、子育て関連施設が2階にあり、ベビーカーなどをもって来られる人も多いと思うので、エレベーターなどの設置や配置など配慮が必要だと思う。また、低層案②、③では、子育て関連施設と事務室や会議室、コワーキングなど作業をするスペースが近くにあり、音などが問題とまらないと感じた。低層案①では、そういった問題がないように感じた。

⇒建物の中で、賑わいのある場所と少し静寂がある場所を確保するといった考えで施設内の配置を検討した方がよいといった視点の提起と整理。

- ・社会福祉協議会の委員もやっているが、社会福祉協議会の仕事はこれからますます増えると思う。福祉の問題は重要視されているが、施設では3階に追いやられている印象。できれば、1階大きなスペースを確保してもらうのが望ましい。

⇒社会福祉協議会の事業を考えると全て1階にという考えは理解できる。ただ、事務機能など全ての機能を1階持つてくるというのは、難しいと考える。その中で、社会福祉協議会として住民に期待されている機能や災害時の対応などを考慮して、最低限必要な機能については1階に配置するという整理である。これについては、事業内容を整理し、検討する必要がある。

- ・全体の予算規模はどうか。案によってもそこまで大きく変わらないのか。将来負担を考えると知っておきたいと感じる。考えなくていい問題ではないと感じる。また、出張所機能は残るのか。現在あるみらい広場のような使い方ができる空間はあるのか。

⇒プランによって整備費は多少の増減があると思う。案③のようにキャノピー状に計画をすると建築費は高くなる傾向にあると聞いている。やはり、箱状にまっすぐ重ねるほうが、効率的で構造上も一番安価で済むと言われている。総事業費については、建物の条件などが整理された後にお示しできるのではと考えている。町の上

位計画である公共施設マネジメントのアクションプランで60億円という数字が概算で出されている。ただ、あくまで概算であり、建築費等の高騰などが今後どのように影響するのかを考慮していく。出張所機能については、新施設にも残す計画である。藤久保地域は人口集中地であり、現在も多くの住民が出張所を利用されていることから、同様の機能を有した出張所を整備する予定である。屋外空間については、現在計画している小学校と公共施設の間や、交差点側のスペースなどをみらい広場など幅広い利用に使える場として想定している。

【審議（4）について】

⇒これまでの活動をどう広げていくか。それと新しい利用者とどんなことをしたいのか。そういった視点でアイデアを膨らましてもらい、何かご意見を出していただきたい。「施設の中に、こういった機能を足した方がいいのではないか」などの議論が広がる可能性がある。紹介された事例や、近隣での取り組みなども参考に、アイデアをふくらましていただきたい。

- ・小学校側の考えもあると思うが、今回は小学校と公共施設の共有といった部分が計画されている中で、小学校側の施設も検討に含めた方がよいのではないか。また、外壁についても、カーテンウォールなどでつくることで、採光や外部との利用の部分で工夫できるのではないか。これまでは、公共施設は公共施設、学校は学校といった形で議論されてきたように感じる。それを一体で検討することが重要だと感じる。

⇒次回のアイデアの部分で「小学校の児童と何かできれば」という意見が出るかもしれない。最終的には何を共有するのかという部分は、町と学校の議論かもしれないが、アイデア出しのところから議論するのもよい。

- ・本委員会の継続について、委嘱期間は変わるのか。今後の形を伺いたい。

⇒委嘱期間は令和3年3月31日までとなっているが、現在、新型コロナウイルス感染症の影響で遅れており、策定が完了するまで期間を延長したいと考えています。今後こういった委員会を設置していくかといったことは未定ですが、本委員会については、基本計画を策定するための委員会であるため、計画策定完了までと考えております。

【審議（5）について】

- ・本日も議論に出ていたが、バリアフリーの観点は重要だと考えます。また、モデルプランの屋上緑化などは、緑化の条例などから求められたものなのか気になった。
- ・ネット環境は整った施設にしてほしい。藤久保公民館は現状ネット環境がなく不便だった。
- ・モデルプランの中で③案では、コミュニティスペースと開架書架が分散されている。また、その間に調理室やホールといった色んな部屋が混在している。こういった配置でこういった使い方がされるのかと感じた。
- ・1つは、PTAとしての意見ではないが、子供の居場所を作っている団体に所属しているが、今まで公民館ではそういったいろんな子供が集まるようなイベントを禁止されていて、名簿に載っている人は使えるが、出入り自由といった使い方ができなかった。新しい施設にはコミュニティスペースもでき、自由に子どもが出入りできるようなイベントも出来るのではないかと期待している。もう一点は学校保護

者として、そういった不特定多数の人が使う施設が近接しているということは、小学校に不審者などが入り込むといった心配があるので、防犯の部分もしっかりと検討してほしい。

- 配置案について、本日説明があった皿案がよいと感じた。理由は、校舎と体育館の距離が近いことと、プールの配置がわからないが、指導上の経験から近くにあることが重要だと感じた。
- 学校施設内のレイアウトについては、まだ詰めていないとのことなので、次回の会議では公共施設の利用者が、小学校の施設をどのように使いたいかなどを、学校として提供できるかという点も含め相互利用についての意見交換ができればと感じました。
- 年齢問わず障害やハンデのある方でも集まれるような施設にしてもらえたらいいなと思っています。
- 地域の方がこの計画が進行していること自体を知らない人が多い。広報については、住民説明会などを含めきめ細やかに行ってもらいたい。